

NEWS

Club

OA

TECHNOLOGY

第72号

技術継承が進まない？  
生成AIで解決する3つのヒント

西田企画

生成AIコンサルタント  
DX/AIアドバイザー

西田 善紀



functional  
2025年4月13日発行

## 「熟練の職人が高齢化し、ノウハウが失われつつある…

ベテラン社員の技術を若手に伝えたいが、教育にかける時間も余裕もない。マニュアルを作っても、実際の業務では役に立たないことが多い…。」

このような悩みを抱える中小企業は少なくありません。特に、製造業や専門技術を要する業種では、経験や勘に頼る部分が多く、「継承の難しさ」が課題になっています。

しかし、最新の技術（生成AI）を活用することで、技術継承の仕組みを効率化する方法が見えてきます。

### 課題の具体化

技術継承が進まない理由には、以下のようなものがあります。

- ベテラン社員が忙しく、教育の時間が取れない
- 技術の多くが「感覚的なもの」で言語化しにくい
- 教育マニュアルが実務に合わず、形骸化しがち
- 若手社員のスキル習得にばらつきがある

こうした問題があるため、現場での「学びの仕組み」が十分に機能せず、結果として技術の喪失が進んでしまいます。

### 生成AIの活用方法

この課題に対して、生成AIを活用することで、次のような解決策が考えられます。

#### 1. 熟練者の知識をAIでデジタル化

ベテラン社員の作業を動画や音声データで記録し、生成AIを活用して「わかりやすい説明」に変換。

👉 **事例**：作業のポイントをAIが自動要約し、新人向けの説明文を作成。

## 事例紹介（宝塚市の医療器具製造業）

宝塚市の医療器具製造業では、職人の手作業による調整が品質を左右していました。しかし、技術継承が進まず、新人は長年の経験を持つ職人の感覚を理解するのが難しい状況でした。

そこで、

- 熟練者の作業を動画と音声で記録し、AIが「理解しやすい技術マニュアル」を作成
  - 生成AIチャットボットを導入し、新人がいつでも質問できる環境を整備
  - 一部の作業をRPA化し、教育に使える時間を増やす
- 結果として、新人のスキル習得が早まり、技術継承がスムーズに進むようになりました。

まとめ

技術継承は時間と労力を要する課題ですが、生成AIを活用すれば

、

- ✓ 技術の言語化とマニュアル作成の負担を軽減
- ✓ 若手社員のスキル習得をサポート
- ✓ 熟練者の時間を確保し、指導の効率を向上

といった形で、より実用的な仕組みを構築できます。

今までのやり方に固執せず、新しい可能性を探ってみませんか？

💡 不明点や質問があれば、私のURLから問い合わせてください。

👉 <https://nishidaplanning.my.canva.site/>

西田

Instagram : [https://www.instagram.com/sassypooh1969?  
igsh=azQwNTFnNHlpOXNz&utm\\_source=qr](https://www.instagram.com/sassypooh1969?igsh=azQwNTFnNHlpOXNz&utm_source=qr)